

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和8年 5月 25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 6月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

藤塚小のよさ・新桜ヶ丘まちのよさ

校長 高浜 正太郎

若葉の緑が鮮やかで、木々を吹き抜ける風もさわやかな5月が終わろうとしています。校内では、1年生が自分の植木鉢にアサガオの種を蒔いたり、個別支援学級や2年生が花壇に夏野菜の苗を植えたりして、今後の生長を楽しみにしています。初夏から梅雨にかけての時期は、植物にとって大切な季節であることをつくづく感じさせられます。町を歩いているとツバメの巣も見られます。親ツバメが来ると大きな口を開けて餌をねだる子ツバメの姿が、たいへん可愛らしく微笑ましく感じられます。そして親ツバメが熱心に餌を運ぶ姿には感心させられます。

本年度より、本校では生活科と総合的な学習の時間を中心とした校内研究がスタートしました。子どもたちにとって身近な存在である学校や地域の中から新たな発見をすることで学習課題を見つけて調べたり、地域の方々との交流を通して学んだりする活動を通して、自分の思いや願いをもち探究し続ける子どもの育成を目指して研究を進めていきます。

1年生の学習では学校を探検する活動が始まり、クラスごとに各階の教室を興味津々に見学していました。ペア学年として一年間お世話になる6年生と自己紹介をしたり、牛乳パックの開き方を教えてもらったりする時間もありました。6月になると絆活動も本格的に始まります。異学年交流は本校の特色ある教育活動の一つですが、同学年だけではなく異学年の子ども同士の間でつながりを深め、交流の幅を広げることによって、学校に行くことの楽しみを増やしてほしいと考えています。そして、学校のことを知り、自分たちに関わる人々のことを知っていくことで、子どもたちが藤塚小のよさを知り、この学校を好きになってくれたらと思っています。

また、3年生の学習では、屋上から学区を見渡すことで、これから始まるまち探検に向けてのオリエンテーションをしていました。今後は方面ごとにまち探検に出かけて、公園や公共施設、店舗などの特色ある場所や地形について調べたり、それぞれのエリアで活動している方々に取材したりインタビューしたりすることによって、藤塚小学校区の特徴やよさを知り、その学びを発信することができる力を身に付けてほしいと思います。

このように各学年の学習活動を通して、藤塚小学校や住んでいるまちのよさを知り、そのよさを発信していけるような子どもたちを育てていくことも、教育活動の大きな目的の一つではないかと考えています。

6月に入ると梅雨を迎える季節となり、寒暖差が激しく体調を崩しやすい時期となります。ご家庭においても、お子さんの体調管理にご留意くださるようお願いいたします。